



バンテックグループ 中期経営計画(2008-2010)

BASIC “&” INNOVATIVE
基本に立ち帰り、グローバル新時代を切り拓く

2008年5月16日

株式会社バンテック・グループ・ホールディングス

【お問合せ先】

経理財務部IRグループ 045-410-0325

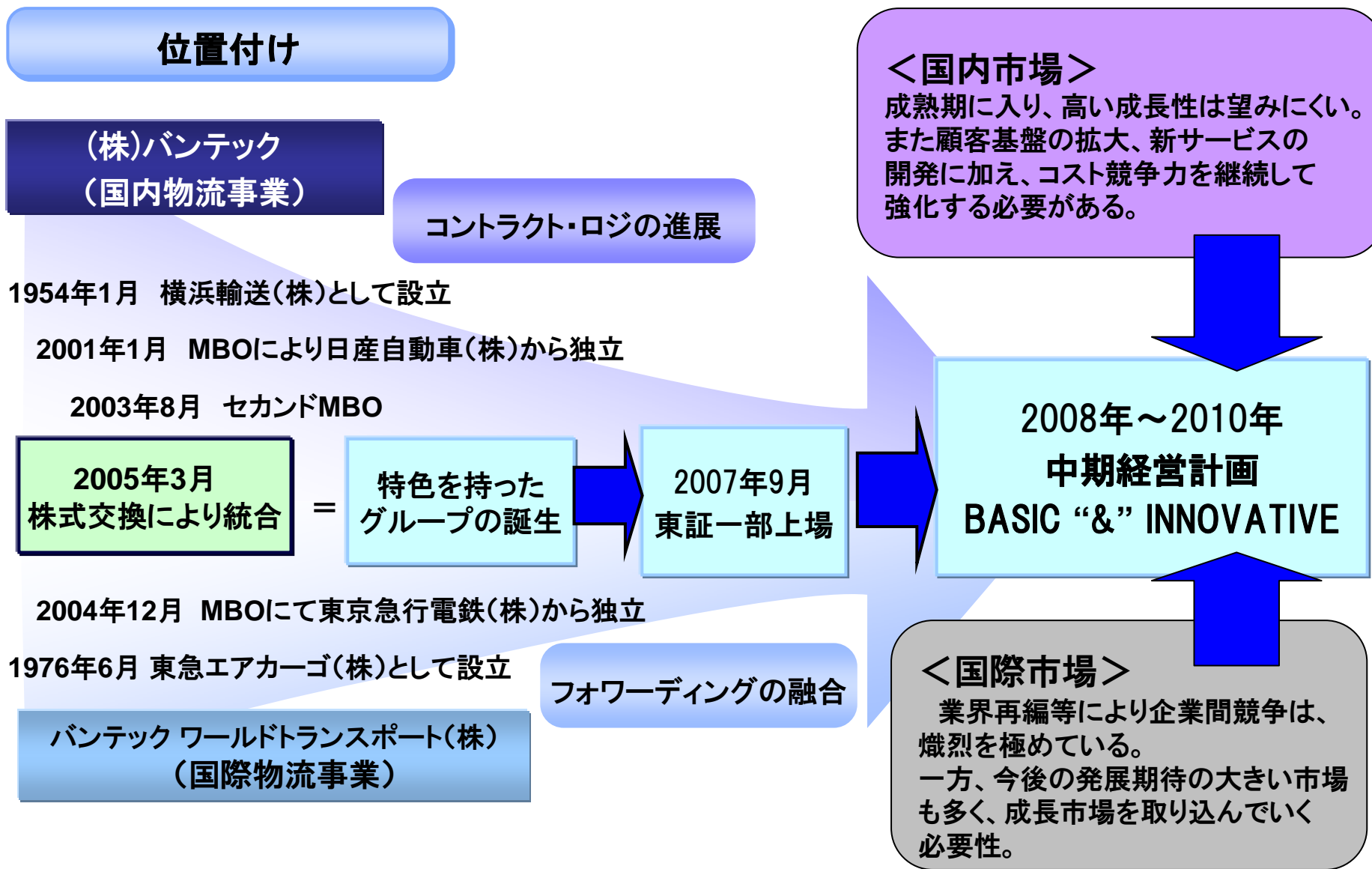
1. 中期計画の位置づけ、基本方針
2. 経営に対する基本的な考え方
3. 業績目標（業績推移、売上構成、投資計画、目標とする指標）
4. 主要施策
 - ① 顧客基盤の拡充、強化
 - ② 国際物流事業の拡大
 - ③ コスト競争力の強化
 - ④ 人材、システム、物流施設等のインフラ整備
 - ⑤ CSR経営の推進

免責事項

本資料に含まれる数値及び将来に関する記載は、本資料発表日現在における情報並びに情報に基づく判断であり、今後の原油価格、為替レート、市場環境といった経済情勢の変化等の要因により変化する可能性がございます。

また本資料に記載されました数値、目標については将来の業績等を保証するものではありません。

1. 中期計画の位置付け、基本方針①



1. 中期計画の位置付け、基本方針②



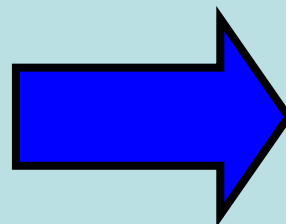
基本方針

BASIC “&” INNOVATIVE

基本に立ち帰り、グローバル新時代を切り拓く

<特色>

ハイブリッド
(コントラクト・ロジ + フォワーディング)



企業価値の向上

グローバル展開の基礎固め

<前提>

ステークホルダーとの良好な関係の構築・維持

2. 経営に対する基本的な考え方 ①



経営理念

私たちバンテックグループは、世界の陸・海・空を結ぶグローバルな物流業務を展開し、常に新しい付加価値を創造することによって、社会・経済の発展と人々の豊かな生活に貢献します。

経営方針

私たちバンテックグループは、次のような企業像を目指しております。

1. 収益力が高く、常に成長、進化を続ける
2. 現場力と技術力を磨き、質の高いサービスでお客様の信頼と満足を獲得する
3. グループの総合力を活かす
4. 得意分野を活かし、自動車部品物流ではグローバル市場でのブランドを確立する
5. 人を活かし、人材を育てる
6. 健全で良き企業市民となる

2. 経営に対する基本的な考え方 ②



企業行動指針

私たちバンテックグループは私たちを支えていただいている様々なステークホルダーの皆様に対し次の指針に従います。

1. お客様 : お客様の立場になって知恵を出し、価値を創造いたします。
常に誠実な対応を通じてお客様の満足度向上、信頼の獲得に努めます。
2. 株主 : 高収益を追及し、成長を続けることにより企業価値の向上に努めます。
3. 取引先 : 取引先から信頼される企業を目指し、公正・透明な取引を推進します。
4. 従業員 : 従業員とその家族を尊重し、働きがいと個人の成長を大事にします。
5. 地域社会 : 地域社会の一員として、良き企業市民として社会と共生します。
6. 環境 : 地球環境にやさしい企業活動を指向します。

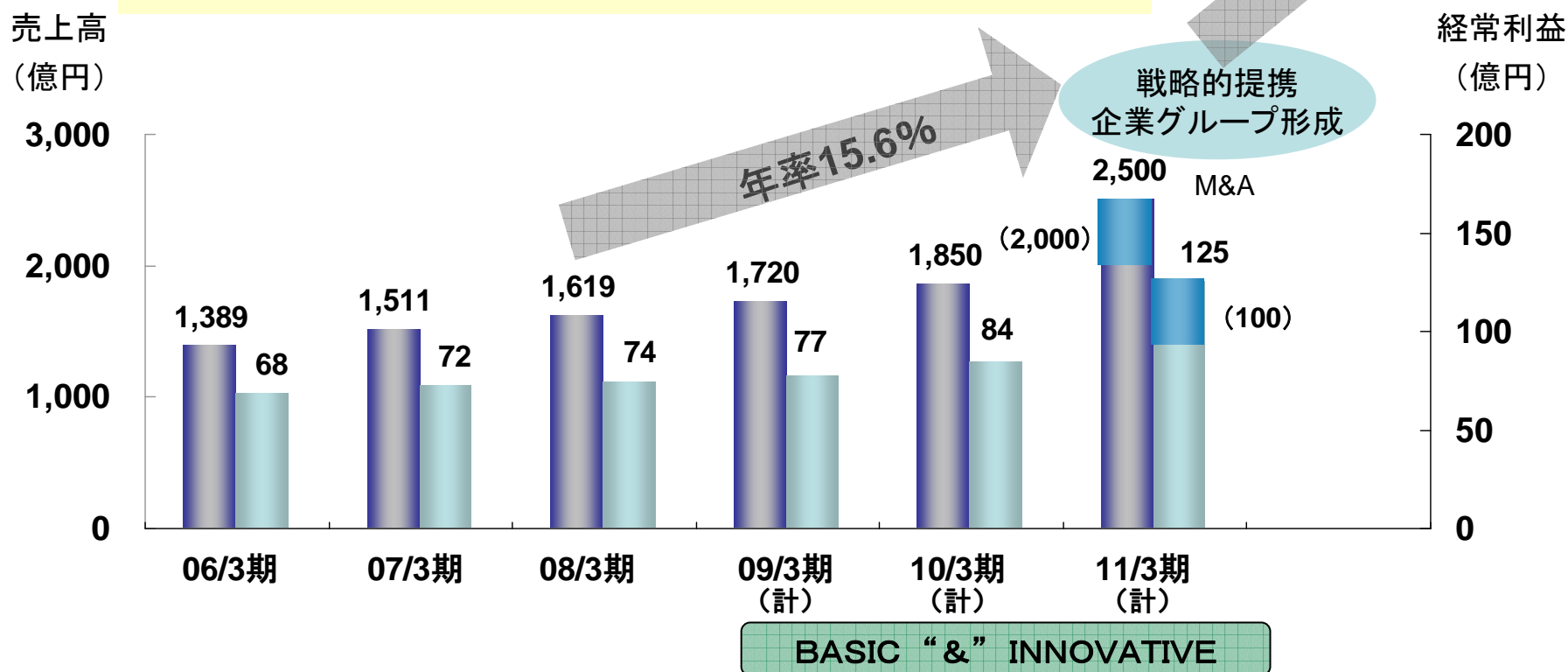
3. グループ業績目標 ① 業績予想推移



2011年3月期

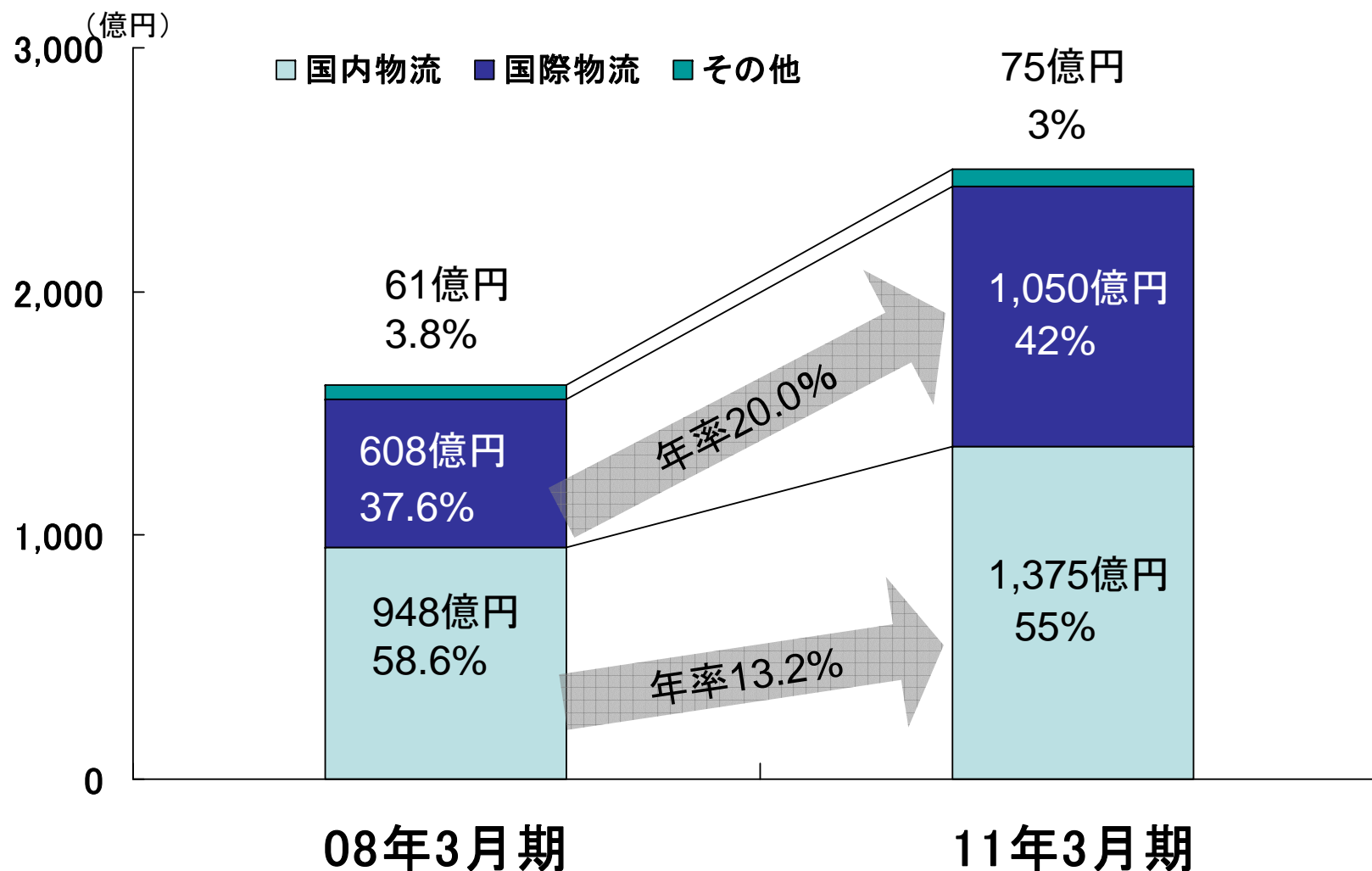
売上高 2,500億円 (内、500億円はM&A等による)
 営業利益 125億円 (内、25億円はM&A等による)
 経常利益 125億円 (内、25億円はM&A等による)

より長期的に
売上高 5,000億円



※ M&A等による増収増益額、及び組織再編等による戦略的コスト削減策の効果額(10億円)は、11年3月期に計上しております。

3. グループ業績目標 ② 売上構成



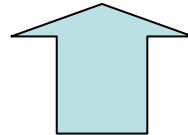
3. グループ業績目標 ③ 投資計画



3年間で300億円の「戦略投資枠」

- M&A … 200億円
- 物流施設の増強 … 100億円

※ 経常的な投資とは別枠での投資です。



統合後(過去3年間)におけるM&Aの実績

| | |
|------------|----------------------------------|
| 05年10月 | (株)ロジメイト (100%) |
| 06年 6月 | (株)バンテックゼットロジ及び(株)VZ物流(100%) |
| 06年 12月 | (株)バンテック・RFソリューションズ及び(株)Liti R&D |
| 06年 12月 | バンテックヨーロッパ(株) (49%→100%子会社へ] |
| 07年 3月 | ユーラシアスピードフォワードディング社(ハンガリー) (25%) |
| 08年 5月(予定) | ヴィア・ロジスティクス(株) (30%→51% 連結子会社へ) |

※ 各会社名については、現社名です。

3. グループ業績目標 ④ 目標とする指標



主要財務目標

| | 07年3月期 (上場・増資前) | 08年3月期 | 11年3月期 (目標) |
|----------|--------------------|--------|----------------|
| ROE | 27.4% | 21.5% | 15.0%以上 |
| ROA | 11.2% | 10.4% | 10.0%以上 |
| 売上高経常利益率 | 4.9% | 4.8% | 5.0%以上 |
| D/E レシオ | 1.2倍 | 0.7倍 | 1.0倍程度 |

※ROA…経常利益／総資産(期中平均) ROE…当期純利益／純資産(期中平均) D/Eレシオ…有利子負債／自己資本

4.主要施策



- (1) 顧客基盤の拡充、強化
- (2) 国際物流事業の拡大
- (3) コスト競争力の強化
- (4) 人材、システム、物流施設等のインフラ整備
- (5) CSR経営の推進

4. 主要施策① 顧客基盤の拡充、強化



- 一貫サービスの開発と新規取引拡充
- 既存お取引先との取引深化の推進。クロスセルの強化
- グローバルアカウント取引の拡大
- 海上事業の強化
- ITの戦略的活用
- グローバル物流コンサルティングの強化
- M&Aの積極的推進

4. 主要施策② 国際物流事業の拡大



- **重点地域(中国圏、アセアン・インド、欧州・ロシア、米州)における統括機能の設置と人材の重点配置
(ロジ、フォワーディングの一体取り組み)**
- **重点地域を中心とした拠点網の強化
(提携、M&Aを含む)**
- **国際物流事業関連物流施設の拡充(国内、海外)**
- **海上事業の強化**
- **航空、海上事業でのイントラアジア、アジア発着貨物の捕捉強化**

4. 主要施策③ コスト競争力の強化



- グループ横断的なコスト構造の改革により営業利益率5%を確保
- グループ管理機能(コーポレート、管理部門)の統合化
- 低採算事業の再見直し
- グループ共同購買機能の強化・徹底
- シェアード・サービス会社の設立

4.主要施策④ インフラ整備



- 人材を活かし、活力ある企業風土の創造
- 人材のグローバル化推進
（邦人の海外要員拡充、外国人の戦力活用）
- 現場力、ノウハウの承継教育充実
- システムインフラの整備
- 物流施設の充実(国内、海外)

4.主要施策⑤ CSR経営の推進



- 内部統制力の進化
- 継続的コンプライアンス、安全管理の徹底
- 環境問題への積極的取組
- 総合的リスク管理力の強化